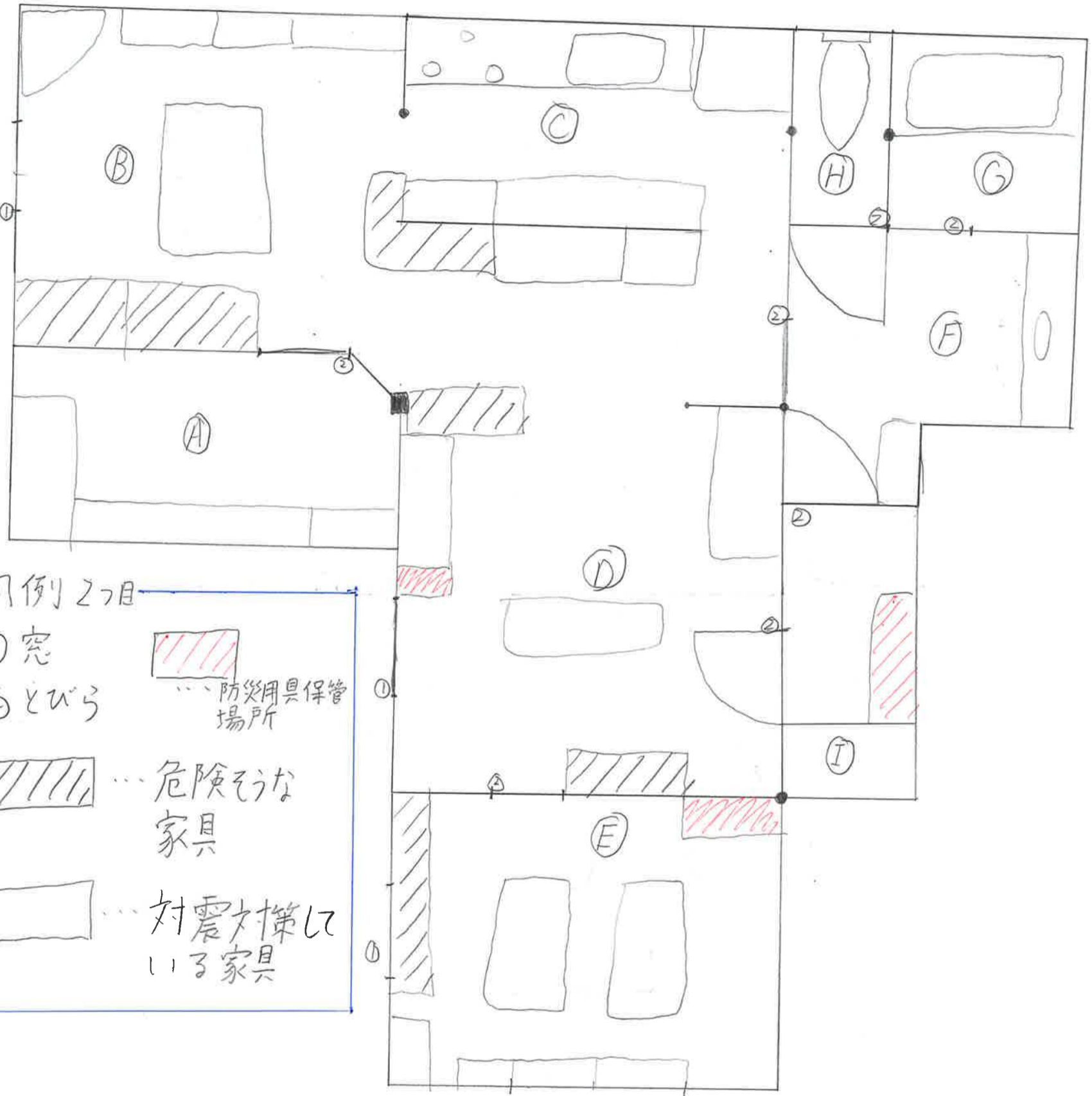


我が家の避難経路を考える。

凡例1つ目

① 自室	④ リビング	⑦ 風呂場
② 食堂	⑤ 寝室	⑧ トイレ
③ 台所	⑥ 洗面所	⑨ 玄関



凡例2つ目

① 窓		防災用具保管場所
② とびら		
	...	危険そうな家具
	...	対震対策している家具

自分の場合... 僕は、ほとんどの時間を①、②で過ごしているので地震の時もそこにいる確率が極めて高い。そして③には家族全員が隠れるほど大きい食卓があるので、地震が起きたらまず①のとびらを開けておき、余裕があるなら④の①を開けておく。そこにはもしものための靴や防災用具が置いてあり、庭から直接道路へ出ていける。地震がおさまった後は、③の食卓からでて④の①から外へでて避難所へ行く。

母親の場合... 母親は、日中は③、④で、夜は③、⑤で過ごしていることが多いので、③が④にいるときは、「自分の場合」にあるような避難をすればよい。又、⑤にいるときは、そこにある防災用具を持ってからできれば扉を開けておき、机の下に隠れる。ゆれがおさまったら④の①をあけて道路に出て避難所へ向かう。

父親の場合... 父親は、日中は仕事で家におらず、夜は④、⑤で過ごしていることが多い。⑤にいる時は「母親の場合」にある行動をとればよい。また、④にいる時は、その部屋にある窓を開放してから同じ所にある防災用具を持てながら③の食卓の下に隠れる。そして地震がおさまってから、開けた窓を通して外へ行き避難所へ行けばよい。